白川町　トンネル長寿命化修繕計画　一覧表　（令和7年3月改訂版）

凡例
測試：△
工事：○

○対象施設：黒川東白川トンネル
○計画期間：令和8年から令和12年度
○基本方針：トンネルの老朽化対策を確実にすすめるために、現場点検、診断、今後の対応方針、記録という流れでメンテナンスサイクルを構築する。
○対策の優先順位と考え方：点検結果に基づき、橋梁の健全性のほか、路線の重要度などを総合的に勘案して決定する。
○対策内容と実施時期：下記一覧のとおり。
○新技術の活用：定期点検の効率化や高度化、修繕措置の省力化や費用縮減を図るため点検や対策における新技術等の活用を新技術情報提供システム（NETIS）、岐阜県点検支援技術活用の手引きを参考に唯一の管理施設である黒川東白川トンネルにて検討を行い令和12年度までに約50万円のコスト縮減を行う。
○対策費用：下記一覧のとおり。
○集約化・撤去の検討：集約化・撤去の検討を行った結果、本施設は白川町と東白川村を結んでいる災害発生時に重要な路線のほか、隣接する迂回路を通行した場合、約30分（約15km)を迂回することとなり、社会活動に影響を与えることとなるため集約化・撤去を行うことは現状困難である。周辺の状況や利用状況を踏まえて、再度検討を行う。

トンネル名	路線名	開設年次	延長(m)	幅員（m）	緊急輸送道路	点検計画								点検記録		修繕計画										修繕内容	R7以降工事費（百万円）	備考	概算工費（万円）					
						R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	最新点検年次	判定区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15				点検	補修設計	補修工事	照明設計	照明工事	合計
黒川東白川トンネル	黒川東白川線	2010	2070	5.5	二次		○					○		R7	Ⅱ								△ ○			補修	14,400	次回定期点検：R12年度	2,500	500	1,000	400	10,000	14,400
																																		0
																																		0

※ 修繕計画については法定点検結果により随時見直しを行う。

※ 点検計画については次回5ヵ年計画において平準化をはかる。

※修繕計画は、R12年度の次回定期点検の結果、補修が必要となる変状が発生したと仮定して、補修工事をR13年度に計上する。

※なお点検及び補修に関し、本トンネルは白川町との境界に位置するトンネルであることから、別添協定に基づき白川町が点検及び補修工事を実施し、東白川村はその費用のうち協定で定める割合を負担金として白川町へ支払うこととする。